

# 行政評価シート

事業番号	1
所管課名	福祉課

## 1. 評価対象事業名等

事業名	障害者医療費助成事業
総合計画実施計画事業 (認定番号:事業名)	なし
行政改革大綱実施計画事業 (細目コード:事業名)	1-1-17:心身障害者医療費助成の見直し

## 2. 事業内容・事業費等

事業目的	医療費を助成することにより、障がい者の経済的負担を軽減し、医療の受診機会の確保を通じて、健康の保持と福祉の増進を図る。						
事業内容	・身体障がい者1～4級、知的障がい者A1～B1、精神障がい者1～2級の方を対象として、医療費の保険適用分の自己負担額を助成する。						
根拠法令・条例等	大磯町障害者の医療費の助成に関する条例、大磯町障害者の医療費の助成に関する条例施行規則						
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業費 (財源内訳) (千円)	年度	総額	一般財源	国庫支出金	県支出金	起債	その他
	H22(決算)	151,999	114,970		26,213		10,816
	H23(決算)	155,811	112,862		28,219		14,730
	H24(予算)	162,035	121,643		32,392		8,000
事業費内訳	印刷製本費:18千円、通信運搬費:17千円、手数料:2,000千円、心身障害者医療扶助費:160,000千円						

## 3. 指標値の推移

事務事業の各種指標の年度実績及び見込み、目標		単位	H22 (実績値)	H23 (実績値)	H24 (見込み又は計画値)
(指標名)					
対象指標 (対象者数等)	① 受給者証交付件数	件	1,199	1,221	1,231
	②				
活動指標 (活動量)	① 医療費助成件数	件	20,197	18,823	18,960
	② 医療費助成額	千円	150,099	153,875	160,000
成果指標 (達成度等)	① 受給者1人当たりの支給件数	件	17	15	15
		(自由記入欄)			
	② 受給者1人当たりの支給額	千円	125	126	130
		(自由記入欄)			

## 4. 事務事業の評価

妥当性	実施手段・主体は妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他( )
理由		医療費助成は重要であるが、今後この事業を安定的に運営していくためにも、改善を図る必要があると思われる。なお、事務の性質上、町が実施主体となるのは妥当であると考え。
成果	意図した成果が上 がっているか。	<input type="checkbox"/> 上がった <input type="checkbox"/> おおむね上がった <input type="checkbox"/> あまり上がらなかった <input checked="" type="checkbox"/> その他( )
理由		医療費を助成することにより、障がい者の経済的負担が軽減され、事業目的に大きく貢献している。
効率性	コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> やや非効率 <input type="checkbox"/> 非効率
	理由	医療保険と併用で利用する制度であり、対象者はよく利用しており、効率性は確保されている。事務量の大部分を占める医療費の審査支払業務は、県国保連合会に委託している。
コストの削減等 を図ったか。		<input type="checkbox"/> 削減した <input type="checkbox"/> 削減できなかった <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地は無い <input type="checkbox"/> その他( )
	理由	医療費の一部負担が当該事業コストの大部分を占めることから、削減の余地はない。
総合評価 (担当課の自己評価)	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性は良好で、現状のまま継続する	
	<input type="checkbox"/> B 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、さらに改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> C 事業の一部見直しが必要	
	<input type="checkbox"/> D 事業の抜本的な見直しが必要	
	<input type="checkbox"/> E 事業継続の必要性が低い	
		評価の判断理由
		医療費助成の歳出に占める割合は大きく、継続実施した場合、支出も増大していく中で見直しは必要。

## 5. 改善の方向性 ※総合評価Aの場合は記入不要

障がい者にとって、医療費の助成は健康の保持と福祉の増進を図るために必要不可欠なものであるため、安定的な制度の継続が必要と考える。限られた財政状況の中でも、真に必要としている障がい者への医療費の助成を継続実施すること、また医療費だけでなく新たな障がい者ニーズに対応するためにも制度の見直しは必要であると考え、平成25年10月施行を目指し、所得制限及び対象者の見直し(新規に手帳を取得した年齢が65歳以上を対象外とする)に向け準備を進めているところである。

所管課名	福祉課
事業名	障害者医療費助成事業

事業番号	1
------	---

<p>評価対象 選定理由等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 予算規模が大きな事業</li> <li>■ 今までに事業仕分けや行政評価の対象になった事業</li> <li>■ 行政改革実施計画に位置付けられている事業</li> <li>■ その他  <span style="font-size: 2em;">{</span>           右肩上がりに上昇する助成額や他の自治体における助成状況などにより担当課が自己評価(事業の一部見直しの必要)した上での今後の事業展開の考え方や制度のあり方について         </li> </ul>		
<p>評価選定に対する 所管課の見解</p>	<p>評価対象に選定された理由に対する所管課の考え方</p> <p>平成19年度に行われた事業仕分けの結果や現状を踏まえ改正に向け準備をしているところである。障がい者に対する福祉制度においては、所得制限があることが一般的となっており、負担の公平性の観点から所得制限の導入、また、障害者医療費助成額の伸びは、65歳以上の高齢者の増加が大きな要因となっている。高齢になるまで健常者であった者はある程度の財産形成が可能であること、また、65歳以上で一定の障がいがある者は申請により後期高齢者医療制度(負担割合3割→1割)で医療を受けることができることから、65歳以上の新規手帳交付者を助成の対象外としたいと考えている。平成25年10月施行を目指している。</p>		
<p>外部 評価 結果</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;"><b>総合評価結果</b></td> <td> <input type="checkbox"/> A 現状どおり事業を進めることが適当 (適当)  <input type="checkbox"/> B 事業の進め方を改善し事業を継続 (改善・継続)  <input checked="" type="checkbox"/> C 事業規模・内容、事業主体の見直し (抜本の見直し)  <input type="checkbox"/> D 事業の休・廃止を検討 (休・廃止)         </td> </tr> </table> <p>評価コメント</p> <p>制度改正は必要だが、右肩上がりとなっている原因の詳細な分析が不足している。予定される制度改正により、不利益を受ける対象者に選択肢を用意することが必要である。新たな施策がないならば、県や近隣市町と協議を重ねいろいろな施策を検討し、抜本的な見直しを進めるべきである。</p>	<b>総合評価結果</b>	<input type="checkbox"/> A 現状どおり事業を進めることが適当 (適当) <input type="checkbox"/> B 事業の進め方を改善し事業を継続 (改善・継続) <input checked="" type="checkbox"/> C 事業規模・内容、事業主体の見直し (抜本の見直し) <input type="checkbox"/> D 事業の休・廃止を検討 (休・廃止)
<b>総合評価結果</b>	<input type="checkbox"/> A 現状どおり事業を進めることが適当 (適当) <input type="checkbox"/> B 事業の進め方を改善し事業を継続 (改善・継続) <input checked="" type="checkbox"/> C 事業規模・内容、事業主体の見直し (抜本の見直し) <input type="checkbox"/> D 事業の休・廃止を検討 (休・廃止)		
<p>次年度事業への 取組み状況</p>	<p>外部評価結果を受け、次年度事業への取組み状況などの反映結果</p> <p>予算額: <b>167,034</b> 千円 記入日: <b>H25.3.15</b></p> <p>改善点など:</p> <p style="background-color: #ffff00;">医療費助成事業については、県が年々補助率を下げ、制度の対象を縮小する中で、その分を町が負担をする形で事業を継続している状況にあります。 限られた財源を有効活用し、制度の安定的な維持・運営を図るためにも、他市町村の状況を参考に、高齢化による対象者が増加している医療費助成制度の見直しが必要であると考え、平成25年度に制度改正を行う予定であります。現在、制度改正については、パブリックコメントを行い、町民からの意見を募集しています。 今回の主な制度改正は、65歳以上で新たに障がい者に認定された方は助成の対象外とする内容ですが、町では、町民誰もが心身ともに健康な毎日を送れるよう、健康づくり事業を推進させるため「おあす24健康おおいぞ事業」を平成23年度から実施し、予防医学の普及に力をいれています。また、各種介護予防事業をはじめ、24年度からは「高齢者によるボランティアポイント制度」の導入に向けた取り組みをはじめました。 なお、25年度からは高騰している医療費の詳細な分析等にも着手するとともに、県や大学、民間企業とも連携した各種予防事業や健康増進事業などにも取り組んでいきます。</p> <p>外部評価委員会からのコメント <span style="float: right;">記入日: H25.3.21</span></p> <p>評価結果を受けての前向きな取組み姿勢は評価できる。制度改正に向けては、十分な分析や検討を行ったうえでの取組みが必要であることを認識して行っていただきたい。</p>		